

Hokkaido univ. equestrian 2020

北海道大学馬術部現役通信

No.5(1・2月号)

1・2月は大会もなく、運動も基本事項の確認を重点的におこないイベントも少なかったため、1・2月は合併号とさせていただきます。

今年度の抱負

昨年一年間を振り返りますと、部員8人でスタートし、OBの方々と協力しながら部の財政の立て直しと部員の確保に全力を尽くした一年であったと思います。現在は3~1年生で24人となり、12月末までの決算では、来シーズンの資金繰りもどうにかなる見通しを立てることができました。このような馬術部になることができたのは、昨年、資金面また新入生の部員の確保に関して、たくさんのOBの方にご支援いただいたおかげであります。心より感謝申し上げます。

昨年の財政、部員の確保という課題が解決に向かって今年度、私たちは「下級生の成長」に重きを置いて、できるだけ多くの人馬が北日で経験を積むことを目標に活動していきます。現在馬術部に所属する8頭の内6頭は北日出場経験があり、残りの2頭も今年北日に出場する予定であります。一年生が19人いる今、これらの馬に下級生が乗り、競技で結果を残せるようになっていく必要があると思われます。部の財政とも相談しながら、下級生の練習、試合出場機会を増やし、今後の馬術部のさらなる活躍に向けて挑戦していきます。また、4月上旬に今年度の総括として部報を発行する予定であります。今後ともご支援、ご指導のほどよろしく願いいたします。

最近の練習について

馬場が凍り、まともに運動できない日も多いのですが、馬休日を増やすことはなく、週6日常歩でも運動しております。雪の多く降った日は、輪乗りや横木通過、簡単な障害飛越など、秋までの間におこなってきた、下級生でも無理なくできる運動で、春に向けて馬とのコミュニケーション、反応の確認に努めております。



除雪道具を飛越する、北鷹号(シュガーシャック)と1年生←



また、2/13~15で宇都宮大学の1年生2人が合宿に来ました。他大の馬術部が北大に合宿に来るのは3年以上ぶりになります。それぞれの大学の馬の特徴や練習内容について語り、意見交換をおこない良い合宿となったと思います。3月には、北大馬術部の1年生2人が宇都宮大学にお世話になる予定です。

←朝練後、宇都宮大学の部員と朝ご飯を食べました

(文責 3年宮川寛希)